


認知症介護 研究・研修 東京センター

2014 年報

社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター



2014 年度
認知症介護研究・研修
東京センター
年報

序にかえて

2014年度の年報をお届けする。研究活動と研修活動が行われた。東京センターの研究テーマは認知症の地域ケアであり、そのテーマを踏まえて、①地域の認知症施策を推進するための認知症地域支援推進員のあり方に関する調査研究事業、②認知症地域資源連携検討事業、③地域包括ケアにおける在宅医療・介護の推進に必要な諸団体・諸機関の連携の在り方に関するアクションリサーチ事業、④地域で生活する認知症の人の生活を支える在宅サービスのあり方に関する調査研究、⑤認知症対応型通所介護の適切な整備に向けた実態調査、⑥G8認知症サミット日本後継イベントにおけるテーマ「新しいケアと予防」を日本が提供するための調査研究の6つが行われた。2015年1月には2025年に向けて国の認知症施策の方向を示す新オレンジプランが示されたが、これらの研究成果は今後の施策を推進する上で有用な基礎的資料を提供することができる。

研修活動では、9週間にわたる認知症介護指導者養成研修では2回の研修で48名の指導者を送り出すことができた。過去13年間の修了者は720名にのぼる。認知症介護指導者フォローアップ研修では24名が5日間の研修を受講している。認知症地域支援推進員研修は2011年度から始められた研修であり、地域で認知症施策を進めるためのいわば司令塔という役割を担うことを含めた研修であり、認知症の地域ケアでは重要な役割を果たす。2014年度は、地域の認知症施策を推進するための認知症地域支援推進員のあり方に関する調査研究事業の中で、4カ所計5回の研修が行われ、820名が修了した。また、同事業での認知症地域支援推進員フォローアップ研修では207名が参加した。

その他に啓発活動として東京センター研究成果報告会、東京センター公開講座、認知症地域資源連携検討事業の中で都道府県等行政担当者を対象に認知症地域支援体制推進合同セミナーが行われた。今後、東京センターでは新オレンジプランを踏まえた様々な事業が展開されていくことになるが、仙台と大府の両センターと連携しつつ、研究成果を活用し認知症ケアに取り組んでいきたい。

関係諸氏の忌憚のないご意見をいただければ幸いである。



2015年3月
認知症介護研究・研修東京センター
センター長 本間 昭

序にかえて …………… 3

I 研究活動

1. 研究活動の概要 …………… 8
2. 2014年度の研究活動報告 …………… 9
 - 1) 地域の認知症施策を推進するための認知症地域支援推進員のあり方に関する調査研究事業
(厚生労働省老人保健健康増進等事業) …………… 9
 - 2) 認知症地域資源連携検討事業 (認知症介護研究・研修東京センター運営費研究事業)
…………… 12
 - 3) 地域包括ケアにおける在宅医療・介護の推進に必要な諸団体・諸機関の連携の在り方に関するアクションリサーチ事業 (公益財団法人助成事業) …………… 14
 - 4) 「地域で生活する認知症の人の生活を支える在宅サービスのあり方に関する調査研究」
(厚生労働省老人保健健康増進等事業) …………… 16
 - 5) 認知症対応型通所介護の適切な整備に向けた実態調査 (認知症介護研究・研修東京センター
運営費研究事業) …………… 18
 - 6) 「G8 認知症サミット日本後継イベントにおけるテーマ「新しいケアと予防」を日本が提供する
ための調査研究」(厚生労働科学研究費事業) …………… 21

Ⅱ 研修活動

1. 研修活動の概要 …………… 24
2. 2014年度の研修活動報告 …………… 25
 - 1) 認知症介護指導者養成研修 …………… 25
 - 2) 認知症介護指導者フォローアップ研修 …………… 31
 - 3) ひもときシートを活用した認知症ケアの気づきを学ぶ研修事業 …………… 35

Ⅲ その他の活動

1. 2014年度東京センター研究成果報告会（認知症ケアセミナー「認知症当事者と介護者を応援する」） …………… 38
2. 2014年度東京センター公開講座（公開講座「認知症」そのときどうする） …………… 39
3. 認知症介護実践者等養成事業に関する情報共有アンケート …………… 40

Ⅳ スタッフ紹介 …………… 42

Ⅴ 東京センター活動概要

1. 活動実績概要 …………… 50
2. 2014年度東京センター活動一覧 …………… 52